

岐阜工業高等専門学校との産学官連携協定調印式

岐阜工業高等専門学校との産学官連携協定調印式を平成 19 年 10 月 23 日に開催し、各務原市、各務原商工会議所、岐阜工業高等専門学校の三者で連携協定を締結しました。

○ 日 時 平成 19 年 10 月 23 日（火）10 時 30 分から 11 時 30 分

○ 会 場 各務原市役所 3 階第 1 応接室

○ 出席者 岐阜工業高等専門学校長、各務原市長、各務原商工会議所会頭

○ 当日の模様

（各務原市）

- ・ 本市にはロボットクラスターがある。そのほかにも市内の中小企業を通じて様々な工夫ができ、三者の連携を密にすることで市の工業力を高めることができる。
- ・ 本市における産業振興ビジョンの策定においても、各委員から言われるのが「人」である。モノを作り、知識を開発するのも「人」が中心であり、いかにより人材を育てるかがポイントである。
- ・ この連携のポイントは行政と学校だけでなく、商工会議所が入っていることである。三者が連携により多様な政策展開が可能となる。

（岐阜工業高等専門学校）

- ・ 本校の大きな 3 つの目標の 1 つに、「地域との連携強化」を掲げている。今回の連携はまさに望んでいたもので、高専の人財・知財を活用し、地域社会の発展に貢献したい。
- ・ 本校は岐阜大学に比べ、実用的で中小企業向けの研究を行っている。その点で岐阜大学との棲み分けを行っていきたい。

（各務原商工会議所）

- ・ 各務原市の企業には下請けが多く、川上の企業の技術向上についていかなければならない。技術力の向上のために、各企業のニーズをつかみ、仲人役となっていきたい。
- ・ まずはお互いを知ることが重要だと思う。

○ 各務原市における公共用サービスロボット開発に向けた協働プロジェクト説明

（岐阜工業高等専門学校 奥川准教授）

- ・ 本プロジェクトは、家庭内外のサービスを目的としたホームロボットの開発・製品化を目指しており、各務原市内における産学官連携の一例である。
- ・ 現在は、本来のサービスロボットの前段階として、各機関の要素技術を合わせて製作した試作ロボット（写真右）がある。
- ・ サービスロボットの完成時期は未定だが、3 年後を目標に「かかみがはら航空宇宙科学博物館」などの施設で実証実験を行いたい。

